

学生の皆さんへ

【幸か不幸か(?)、勉強は「卒業して終わり」ではありません。

働き始めても、仕事に必要な知識を色々と学んでいく必要があります。最終的に自分はどうなりたいか？

そのために、何を、どういう順番で、どのように学んでいくのか？

やり遂げるために、自分の意識をどう保つか？ルーティーンをどうするか？

こういったことを今でも考えますが、ここに受験期の経験が活きていると感じます。

「ゴールを逆算してやることを組み立てる練習」といいますか…。

学生の皆さんも親さんも、そう受験勉強をとらえると、

モチベーションが保てるかもしれません。

「学志舎での思い出」

オールナイト学習会が一番の思い出でした。

中学生の頃は「徹夜」が未知のイベントだった中、

「勉強」という大義名分で朝方まで起きていて、

大人の仲間入りをしたような気分になりました。

あとは高三時代、ひろ、山下コーチ、小川コーチと

奥の部屋で雑談をしながら

一緒に勉強したのもいい思い出です。

土木系のお仕事をされているお客様に、CADを販売しています。

これだけでは全く想像がつかないと思うので、背景を簡単に説明します。

皆さんが学校に通ったり、学志舎に通ったり、遊びに行ったりするとき、当たり前のように道路を使っていると思います。

金華橋を渡ったり、鶯谷トンネルをくぐったりする人もいるかもしれませんね。

道路、橋、トンネル…。こういったインフラを、地震でも壊れないように設計したり、実際に建設したり、メンテしたりする人たちがいて、「土木技術者」と呼ばれています。

土木技術者たちは、「この道路や橋はどのような形で出来ているかな？」というのを、「図面」という名前の絵にしてやり取りをしながら仕事をします。

この「図面」をパソコンで書けるようにしたものが「CAD」です。

ちょっと複雑でしたね。道路とか橋とかトンネルの絵を描くソフトを提供している、それを使いこなせばお仕事している人が早くおうちに帰れるようになる、と思ってもらえればOKです。

ちょっと土木に興味があるな、という方！ぜひ塾長を通してお声がけください！

「仕事を通じた夢」

土木技術者として働いていた時、いろいろと辛い思いをしました。

土木技術者がこういうソフトを使えば、もっと効率的に仕事できるのに…。

とあってきました。いまは、そういったソフトをお客様に提供しています。

お客様に「おたくのソフトで仕事が楽になったよ！」と言ってもらえたり、

学生さんに「こういうソフトが使える土木って面白そう！」と言ってもらえたり。

そういう経験を少しでも多く積み重ねることが夢です。

卒業生 日下部 達哉

東京大学大学院

工学系研究科

社会基盤学専攻卒

オートデスク株式会社 <https://www.autodesk.co.jp/>

力を何%出せたのか？ 自分で採点する。

点数よりも、大切なものと教えています。

学志舎では教師のことを「先生」ではなく「コーチ」と呼びます。

「コーチ・coach」とは「馬車」の意。

ひいては「大切な人を、その目的地まで送り届ける」という意となります。

彼には小さいころから「発展途上国で鉄道などのインフラを整備して世界に貢献したい、活躍したい」という目標があり、それが大学受験の時の大きな原動力となったと思います。

実際私が担当したのは高3の時の1年間でしたが、物事に対して自分なりの信念、芯があるというのが印象で、それは過酷な大学受験の際にも一度もぶれなかったと記憶しています。

将来の夢のために東京大学に行きたいという目標に向かって、そのために何をすればいいかということもしっかり理解しており、私からは特に何も言うことはなく、コーチングという形でサポートするだけでした。彼が東京大学に合格したとき、逆に私の方が、大きな夢を見据えて努力することが、成功への一番の近道なんだということを学びました。今の彼の様子を知りうれしく思い、一層の活躍を期待しています。

担当コーチ 山下雄太 愛知県在住 皮膚科医



学志舎

智をつけよ そして人の為に使わせ



〒500-8085 岐阜市白木町92番地
【お問い合わせ】平日10:00～21:00

☎ 058-265-4562



<https://gakushisha.com/>



学志舎

岐阜市で24年の塾経営経験を活かし、
お子さまのレベル・ステップに合わせたカリキュラムを組み立て、
徹底した自律学習指導を行っています。

「結果ではなく行動を認める」 — 塾の現場から —

中学校2年のBさんは1学期の期末試験に向かって一生懸命勉強をしていた。自分で立てた塾の計画表もバッチリで、土日も朝一番から夜の最終まで頑張って計画をこなした。私も事務長も目を見張るようなBさんの頑張り、テストの結果が待ち遠しかった。ところが試験後、全く想定外のことが起こった。何と5科目合計で30点も落ちてしまった。7月初旬の保護者懇談会。Bさんのお母さんがやってきた。椅子に座り、開口一番こう言った。「塾長、今回Bは30点下がりました。でも私が見る限り、今まで一番頑張っていました。机の前に貼っていた計画表も、順調に蛍光ペンで塗りつぶされていきました。あの子なりに本当によく頑張ったんです。だから成績は下がりましたが、私は『よく頑張ったね。お母さんはそれがうれしい』と言ってやりました」私はずっと立ち上がり直立不動で「お母さん、私の責任です。ごめんなさい」と頭を下げた。お母さんは「いえいえ、塾長の責任じゃないですよ」と笑いながら言ってくれた。次の授業日、Bさんに「B、テスト結果が出た後、お母さんに何か言われたか？」と聞くと、「うん、私成績が下がったから、てっきり説教されるかと思ったら『よく頑張ったね!』と言われて、びっくりした」と笑顔で答えた。2学期の期末試験、彼女は1学期と同様にしっかりと計画を立て頑張った。結果は5科目ともアップ。3学期、試験範囲が発表された後、Bさんに聞いてみた。「今回はどうするんや？」彼女はおとなしい性格の子で、小学校の頃からみている限りは十中八九こういう答えが返ってくるものと予想していた。「塾長、2学期全部上がったから、今回は下がらんかったらいい」ところが彼女の答えは、私を驚かすのに充分だった。「私、また5科目アップを狙ってみる!」結果は社会以外の4科目アップ。社会は7点下がったが、平均点は2学期より14点ダウンしていた。つまり、実質5科目アップ。3年生になってからは、そのままの成績を維持し、志望校に見事合格した。

智をつけよ そして人の為に活かせ

学志舎塾長 山田 勝登

私は子供たちに言い続けます。
うちの塾の理念は「智をつけよ、そして人の為に活かせ」だ。学びなさい。今、なんのために学んでいるのか。
それは、君たちが社会に出て人に喜んでもらえるような、人に役立つような、社会貢献できるような人になるためなんだ。
周りの人の幸せの為に学びはある。決して自分のためではない。
人に与えたものは良いものであれ悪いものであれ、必ず自分に返ってくる。だったら君たちは何を周りに与えたい？
みんな人生は一回限り、人生が終わる時にその人間の人生の質、満足度は何で測ればいいと思う？
それは君たちがこれからどれだけ多くの「ありがとう」を言ってもらえるか、どれだけ深い感謝の言葉をもらえるか、それに尽きると思う。
もうひとつだけ、同時にどれだけ「ありがとう」の言葉が言えるか…

自律学習の徹底

「言われたことはきちんとこなすが、自分で考えて行動を起こすことが出来ない子が多い」
と言われる昨今、学志舎は「学力」=「学ぶ力」すなわち
「自分で考えて、学習できる力」と位置づけ、徹底した自律学習指導を行うことにより、
自分で考えて行動できる子どもを数多く育てています。

国語力最優先指導

20年前、学志舎は岐阜市で初めて小学生「読書コース」を創設し、
国語力の強化に力を入れてきました。なぜなら、
すべての教科の基本は「国語」だと考えているからです。
そして、学志舎は、国語力が受験においても大きな武器となることを、
その結果で証明してきたのです。

褒める教育の徹底

褒め上手な親の子は伸びる子が多い、もしくは学力が高い生徒が多いというのは、
24年の経験の中で間違いありません。
学志舎は18年前に岐阜県では初めてコーチングを導入し、お子さまの存在を認め、
良いところを褒めることを徹底して行うことで、お子さまを大きく伸ばしています。



小学部

中学・高校の6年間で花開く
「基礎学力」を徹底して作るコース



中学部

高校受験のための教科力と
自律の養成を徹底して行うコース



高校部

本格的な大学受験のための
学力形成を徹底して行うコース

〒500-8085 岐阜市白木町92番地

【お問い合わせ】平日10:00～21:00

☎ 058-265-4562

【感染症対策実施中】